

山口県中学校春季体育大会（バレーボール競技）

大会運営マニュアル

1 会場の利用について

【両会場、両日】

- ・無観客試合となります。ただし、ユニフォームを着用しない部員の入館は可とします。入館前に体温チェックシートを提出し、検温をクリアした大会参加者（選手、役員）、部員のみとなります。本大会では、送迎や応援の方の入館はできません。ご理解とご協力をお願いします。
- ・競技フロア以外の館内でのウォーミングアップは禁止します。
指定された観客席で待機するか、屋外でウォーミングアップをしてください。
（指定位置は各会場で確認をしてください。）
- ・試合を録画する場合には、チーム関係者が行ってください。また、録画した映像がネットワークに公開されることのないように管理をしっかりと行ってください。

【その他の注意】

- ・県中体連のHPに掲載している「**会場使用上の注意事項**」をご覧ください。
- ・路上駐車や近隣の迷惑になる駐車は厳に慎んでください。ご協力をお願いします。

2 選手、役員の大大会参加について

○下記に示されている提出書類、【様式1 校長による証明】と【様式1一覧表】、様式2のファイルは、山口県中体連、春季県体のページの上部に掲載されています。それをダウンロードして活用してください。

① 2週間前～前日

	参加チームの選手・部員、教職員	生徒・教職員以外の役員（外部審判等）
前日まで	健康チェックを毎日行い記録（各学校で使用している様式※）	大会14日前から当日までの間の健康チェックを毎日行い記録する。（様式2）

※毎日、個別の健康観察を継続していない学校の生徒及び教職員は（様式2）を記入しておく。

② 当日朝～受付

- 入館前に、チームでまとまってチェックシート（様式1の2部、または様式2）を提出し、検温してください。チームの受付場所（フロア内）や次試合選手の待機場所等は、上記1を基本に会場ごとに確認してください。
- それぞれの場所では、大会役員の指示に従い、密の状態にならないようご注意ください。
- 受付終了後、チームスタッフ（監督・コーチ・マネージャー）は、必ず規定のマークを左胸に付けておいてください。競技フロアに入場する際に確認します。

	参加チームの選手・部員、教職員	生徒・教職員以外の役員（外部審判等）
入館前	自宅で健康チェックを行う。 試合設定時刻を考慮して、会場に来る。 選手は、引率の先生に健康状態を伝える。 チームでまとまって、チェックシート（様式1の2部、または様式2）の提出と検温を行う。	自宅で健康チェックを行う。 試合設定時刻を考慮して、会場に来る。 チェックシート（様式2）の提出と検温を行う。
受付時	監督は、フロア内の受付で大会参加料、試合球を提出。	フロア内の受付で役員証を受け取る。
受付後	試合以外は観客席または、屋外で過ごす。 再入場時は、チームでまとまって入場する。 館内外の出入りは2F出入り口で行う。	試合以外は待機場所等で過ごす。 再入場時は、受付で役員証を示す。

※毎日、個別の健康観察を継続していない学校の生徒及び教職員は（様式2）を提出する。

【入館することができない場合】

- 健康チェックシート（様式1・2）を提出していない場合
- 体調不良（発熱、咳、喉の痛み、息苦しさ等）の場合

③ 試合前～試合中、試合間

- 試合前アップや試合間アップについても3つの密に気をつけ、試合会場に入るときに消毒を行う。
- 一斉に行う大きい声出しや接触、チームパフォーマンスはしない。
得点後や選手のプレイ中、インターバル時間等に行うチームパフォーマンス（声を合わせた応援、チャント、得点後等に全員がコート内で行う声出しやタッチ、円陣、抱きつき等）は行わない。
- 試合開始・終了時の挨拶は、握手をせず、アタックライン上で礼を行う。
- 試合前、セット前の円陣は組まない。
- 原則、大会会場内はマスク着用とする。
（ア）試合中とウォーミングアップ中の選手、監督・コーチはマスクを着用しなくてもよい。
（イ）試合中の、審判、補助員、関係役員は、可能な限りマスクを着用する。
- タオル、水ボトル、アイシングバッグなどの共用はしない。

④試合終了後

- ・役員は、ベンチ、試合球、ラインフラッグ、得点板などの共用の道具や観客席の消毒を行う。
- ・選手は、試合以外は待機場所等で過ごし、試合前後の一斉移動は避けて、順次譲り合って移動する。
- ・大会後のミーティングについては、3つの密にならないように行う。
- ・会場には不必要に残らず、速やかに解散するように各チームで徹底する。(敗者審判の有無を確認する)

⑤物品の管理について

- ・外履きを持ち込むための袋を持参し、下足箱の利用は控える。
- ・各自のゴミは各自で、各チームのゴミは各チームで確実に持ち帰る。特に、汗や鼻水、唾液などが付いたゴミや使用済のテーピングなどは、ビニール袋に入れ密閉して持ち帰る。また、作業後は必ず石鹸と流水で手を洗い、手指を消毒する。

⑥問題への対応について

- ・役員が問題を確認・指摘し、指示に従わない状況が発生した場合、その時点で大会の全活動を停止し、問題が是正されるか安全が確認できるまでは再開をしない。
- ・問題が解決に至らないと判断した場合は、大会中止を検討する。

3 基本的なコロナ感染症対策として

①健康観察

- ・家庭や試合会場で朝、受付時、大会終了後に行い、風邪症状がないかなどの健康状況を確認する。発熱等の症状が見られるときは、無理に大会参加をせず自宅で休養するようにする。
- ・参加者は、健康チェックシート(様式1の2部、または、様式2)を、大会当日の受付時に大会本部に提出する。

【各チームでの確認事項】

- ・(ア) 風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている場合、(イ) 強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある場合、特に、基礎疾患等のある選手等は、(ア)(イ)の状態が2日程度続く場合は、医療機関に電話連絡し、指示に従うよう促す。
- ・選手、指導者及びその家族に、新型コロナウイルス感染症等が疑われる症状が出た場合、各学校に報告するとともに、保健所にも早急に相談するよう周知しておく。

②手洗い・咳エチケット

- ・外から会場等に入る前、トイレ使用后、昼食の前後に加え、共用の用具(ボールやラインフラッグなど)使用後には、選手等に対し流水と石けんで手を洗うように指導する。
- ・咳エチケット
(①マスクの着用、②ハンカチ等で口・鼻を覆う、③袖口で口、鼻を覆う)を徹底する。
- ・集団感染のリスクを避けるため、特に屋内では、不必要な会話を避け、近距離での会話や発声が必要な場面では、マスクを着用するよう指導する。

③フロアなどの環境・換気

- ・感染防止の「3つの密」（換気の悪い密閉空間、多くの人が密集、密接な近距離での会話や発声）が重なる場を極力つくらない。
- ・試合以外の場において、可能な限り、荷物の管理や更衣の場所など1メートル以上の距離をとる。
- ・出入り口の制限や待機座席の指定などを行う。

④施設や用具の消毒等

- ・選手等が特に多く手を触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチ、ボール、ラインフラッグなど）は、定期的に消毒液（次亜塩素酸ナトリウム希釈液や消毒用エタノール等）を利用して清掃を行う。

⑤その他

- ・持ち帰り用のビニール袋を持参し、使用後のマスク及び口や鼻のまわりを拭いたティッシュペーパーについては、持ち帰る。
- ・タオル及びハンカチを持参し、他人との使いまわしをせず、こまめに手洗いをする。

4 緊急時の対応

①感染症が疑われる発熱や体調不良が発生した場合の対応

- ・全試合を中断する。
- ・救護室等での一時休養は行わない。
- ・濃厚接触者の特定をし、検温等、体調確認をする。
- ・山口健康福祉センターに相談し、指示を受け病院へ搬送する。
- ・原則、保護者への引き渡しをする。時間を要する場合は引率者への引き渡しをする。
- ・安全が確認できるまで、**全員へ待機や会場から退避等の指示**をする。

②大会終了後の発熱について

- ・大会終了後も引き続き、健康観察を行う。
- ・大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに状況（氏名、症状、行動の履歴など）について報告する。

5 その他

①個人情報の取り扱いについて

今回得た個人情報について、個人情報保護法に基づき適正に取り扱い、次の目的以外には利用しない。

- ・万が一、感染症陽性者及び感染の疑いがある者が発生した場合、濃厚接触者の早期発見と早期対策を講じるため
- ・濃密接触者への早期対策で、山口健康福祉センター及び教育委員会へ相談・報告を実施するため

②各会場での安全管理について

各会場では、本マニュアルの内容、大会運営者の指示に加え、**施設管理者の指示にも従わなければならない。**